

# 議会せきがはら

第167号



## 若武者隊（関ヶ原小児童）が 全国手作り甲冑隊といざ出陣！

平成30年10月20日

### 関ヶ原合戦祭り2018

2～3頁 ◆平成29年度決算を認定

一般会計歳出 36億8,461万4千円～第3回定例会～

4～11頁 ◆関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

# 第3回 定例会

9月7～20日

## 平成29年度決算を認定

### 一般会計歳出

# 36億8,461万4千円

報告・承認	3件
人事	1件
条例	3件
予算	8件
決算	10件
算願	1件
見書	1件
決議	1件

平成30年第3回関ヶ原町

議会定例会は、9月7日

(金)から9月20日(木)まで

の14日間、条例改正、補正

予算、平成29年度決算、請

願などの審議を行い、いず

れも原案通り可決した。最

終日には、6議員が一般質

問した。

### 報告・承認

☆一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認

地震による東保育園壁工事請負費などの増額に伴い、

482万6千円を追加したこ

との報告を受け、承認するもの。

☆国民健康保険特別会計(直

診勘定)補正予算(第2号)

の専決処分の承認

地震による医師住宅プロッ

## 平成29年度決算を認定

### 一般会計歳出

# 36億8,461万4千円

ク塀撤去工事請負費の増額に

伴い、151万2千円を追加

したことの報告を受け、承認

するもの。

☆平成29年度健全化判断比率

及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全

化に関する法律の規定により、

財政指標の報告を受けるもの。

### 人事案件

☆教育委員会委員の任命同意

松井長政氏(大字今須)の

任期満了に伴い、引き続き任

命することに同意するもの。

### 条例関係

☆条例等の一部改正

地方税法等の一部を改正す

る法律その他により、個人町

民税、法人町民税、町たばこ

税について所要の改正を行う

もの。

☆町営土地改良事業の施行に

関する条例の一部改正

☆町営土地改良事業分担金賦

課徴収に関する条例の全部改

正

土地改良法第91条の都道府

県営土地改良事業の分担金等

の規定に基づく法第3条に規

定する資格を有する者等から

賦課徴収する分担金について

の規定を追加し、引用部分等

の整理により全部改正し、条

例の題名を改めるもの。

### 予算関係

☆公共下水道事業特別会計へ

の繰入金の変更

人件費の減額に伴い、一般

会計からの繰入金を変更する

もの。

変更前 2億597万2千円

変更後 2億427万1千円

### 平成30年度一般会計補正予算【第5号】主なもの 9,110万6千円を追加

#### 歳入

・歴史活き活き史跡等総合活用整備事業補助金	1,932万1千円
・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金	600万円
・関ヶ原古戦場広域観光環境整備事業費補助金	1,582万円
・避難所環境整備事業費補助金	22万6千円
・前年度繰越金	5,002万1千円

#### 歳出

・北部分団車庫西側ブロック塀解体工事請負費	33万6千円
・地域活性化補助金	60万円
・西保育園駐車場舗装工事請負費	264万6千円
・広域農道整備事業負担金	1,500万円
・共通史跡案内サイン設置工事請負費	1,582万円
・ビジターセンター建設に伴う庁舎引込変更工事請負費	1,015万2千円
・関ヶ原古戦場公衆トイレ整備工事請負費	3,100万円
・道路及び側溝改良工事請負費	180万円
・火の見櫓解体工事請負費	107万円
・町民体育館駐車場舗装補修工事請負費	72万8千円

☆一般会計補正予算(第5号)

西保育園駐車場舗装工事請

負費、広域農道整備事業負担

金、ビジターセンター建設に

伴う庁舎引込変更工事請負費

などの増額に伴い、9,110万

6千円を追加するもの。

左記参照

☆国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

基金積立金などの増額に伴い、7,511万1千円を追加するもの。

☆介護保険特別会計補正予算（第1号）

基金積立金などの増額に伴い、5,280万円を追加するもの。

☆公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

公共マス設置工事請負費などの増額に伴い、179万9千円を追加するもの。

☆水道事業会計補正予算（第3号）

通常修繕費150万円、今須中町浄水場取水ポンプ取替工事177万2千円の増額を内容とするもの。

☆一般会計補正予算（第6号）

台風21号による災害復旧工事費、学校空調改修工事設計業務委託料などの増額に伴い、2,183万8千円を追加するもの。

☆水道事業会計補正予算（第4号）

濁り水発生による損害賠償金17万6千円の増額を内容とするもの。

決算認定

☆決算審査特別委員会設置、委員選任

平成29年度各会計歳入歳出決算は、初日に提案説明を受け、決算審査特別委員会を設置、付託し、会期中に決算審査を行うもの。

決算審査特別委員会

委員長 楠 達男  
副委員長 谷口 輝男  
委員 中川 武子 松井 正樹  
澤居 久文 川瀬 方彦

☆一般会計・特別会計・企業会計決算の認定

会期中に決算審査特別委員会を行い、最終日に審査結果を報告し、原案通り全て認定した。

請願関係

☆政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出に関する請願書

審査のため総務民生常任委員会へ付託し協議した。最終日に委員会報告の後、採決を行い採択した。

議員発議

☆政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

請願の採択を受け、議員発議による意見書の提出があり、原案通り可決した。左記参照



★基金・町債の比較

区分	平成29年度末現在高	平成28年度末現在高	比較
基金(貯金)	13億9,388万5千円	13億9,953万8千円	△565万3千円
町債(借金)	84億7,632万1千円	89億3,346万6千円	△4億5,714万5千円

★町の財政状況

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
経常収支比率	91.0	93.7	87.2
公債費負担比率	10.6	9.9	9.6
財政力指数(3カ年平均)	0.506	0.510	0.526

\*経常収支比率……財政構造の弾力性を示すもので、収入に対する経常費（人件費・光熱費等）の割合で低いほどよい。  
\*公債費負担比率……一般財源に対する公債費（借金）の割合で低いほど財政が安定している。  
\*財政力指数……自治体の財政力を示すもので「1」に近いほど財政力が強い。

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから72年を経た昨年7月7日、国連において核兵器禁止条約が採択された。

この条約は、核兵器の開発、生産、実験、製造、取得、保有、使用とその威嚇に至るまで、核兵器にかかわるあらゆる活動を禁止するものとなっている。

また、この条約に賛成しなかった核保有国の条約への参加の道を規定するなど、核兵器廃絶への枠組みを示すとともに、被爆者や核実験被害者への救済を行うことも明記されており、被爆国、被害者の切望に答えるものとなっている。

このように、核兵器禁止条約は被爆者とともに我々国民が長年にわたり熱望してきた核兵器廃絶につながる画期的なものであり、唯一の被爆国である我が国には、核兵器の廃絶に向けて、積極的な役割が求められている。

よって、政府におかれては、全世界の子どものために核兵器のない未来を目指して、すみやかに核兵器禁止条約への署名・批准を検討し、条約の発効に積極的な役割を果たされるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月20日

岐阜県関ヶ原町議会  
議長 子安 健 司

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿  
外務大臣 殿

★会計別決算額

会計名	収入	支出	差引	採決
一般会計	39億440万1千円	36億8,461万4千円	2億1,978万7千円	反対1名
後期高齢者医療特別会計	1億1,665万6千円	1億1,263万4千円	402万2千円	全員賛成
国民健康保険特別会計（事業勘定）	11億3,219万4千円	10億8万7千円	1億3,210万7千円	
国民健康保険特別会計（直診勘定）	13億1,369万2千円	12億9,248万4千円	2,120万8千円	
介護保険特別会計	8億6,184万5千円	7億6,689万5千円	9,495万円	
介護サービス事業特別会計	1億9,818万6千円	1億4,221万4千円	5,597万2千円	
玉農業集落排水事業特別会計	1,489万9千円	1,481万円	8万9千円	
今須農業集落排水事業特別会計	5,760万6千円	5,698万5千円	62万1千円	
公共下水道事業特別会計	3億4,267万2千円	3億3,996万9千円	270万3千円	
水道事業会計	1億9,646万6千円	3億4,760万8千円	△1億5,114万2千円	

# 関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

## 第3回 議会定例会 質問者

室 義光	議員
川瀬 方彦	議員
松井 正樹	議員
楠 達男	議員
田中 由紀子	議員
谷口 輝男	議員



室 義光 議員

### 質問 1

障害者雇用について

**問** 中央省庁や自治体において、障害者の雇用率が水増しされていた問題が起き、岐阜県教育委員会でも同様の報道があった。障害者の雇用の促進等に関する法律では、障害者の就労機会を広げ、職業の安定を図るため、公的機関や民間企業に一定割合以上の障害者を雇用するよう義務付けている。関ヶ原町の障害者雇用率（過去3年度間実績）と今後の取り組みを伺う。

**答**【総務課長】

平成27年度は1.86%、平成28年度は2.67%、平成29年度は2.04%で、各

年度ともに法定雇用障害者数は充足している。

**答**【町長】

今後も、雇用率にこだわらず、雇用は推進しなければならぬ。個性や適正を生かし、負担の少ない業務の検討や体調に合わせた勤務時間などさまざまな課題があるので、関係機関の助言をいただきながら、調査研究を行っていきたい。

**再質問**

① 障害者数に算入するには本人の同意が必要だが、関ヶ原町において確認作業は行っているのか。

② 関ヶ原町の最新の障害者雇用率を伺う。

③ 町内民間企業の障害者雇用の実態は、岐阜労働局、岐阜県からの報告を受けて把握しているのか。

④ 雇用率未達成企業（常用労働者100人超）から納付金を徴収する制度（障害者雇用納付金制度）があるが、町内の民間企業で対象となる企業は何社あるか。

**答**【総務課長】

① 障害者手帳で確認し、把握している。

② 2.01%である。法定雇用障害者数は充足している。

③ 労働局へ直接の報告事項のため町では把握できない。雇用率は県内データや業種別数値は労働局ホームページで確認できる。必要があれば労働局などへ文書で申請すると、提供が受けられると聞いている。

④ 把握できない。個別の内容は公表されていないと理解している。

**再々質問**

① 今年度の関ヶ原町の法定雇用障害者数は何人か。

② 町として町内企業へ障害者雇用をお願いや指導の啓発は岐阜労働局、岐阜県とともに実施しているのか。

③ 関ヶ原町社会福祉協議会の障害者雇用の実態がわかれば伺いたい。地域福祉に密着した社会福祉協議会だからこそ、障害者雇用を推進している自治体もあると思う。

**答**【総務課長】

① 5人である。

② 実態はわからない。従業員45人以上の事業主はハローワークへ状況の報告義務があるが、社会福祉協議会は報告義務がない。また、確認も取れていない。

**答**【地域振興課長】

② 現在行っていない。国・県と連携した障害者雇用の取り組みは関係機関と協議し進めていきたい。





川瀬 方彦 議員

### 質問 1

子ども達や高齢者が安心して暮らせる町づくりについて（防災力強化）

ア. 夏の記録的な猛暑について（熱中症対策）

### 問

子どもの熱中症対策として学校内のエアコン設置は必要不可欠であり、急務である。関ヶ原中は整備済みであるが、関ヶ原小、今須小中は未設置である。設置の意向だとは思いますが、設置期間、台数などのように考えているか、町長、教育長の考えを伺う。

### 答【教育長】

遅くとも来年の6月中の設置を目指し、普通教室・ランチルーム・特別教室・ワークスペースの学びの場となる場には設置が望ましい。災害時

の避難場所という意味からも設置が望ましい。

### 答【町長】

2校同時に普通教室を整備し、残る教室は今後検討したい。国へ交付金要望を出している。交付金対象外のランチルームは町単独費用で整備したい。

### イ. 地震対策について

### 問

①大阪北部地震発生により、町内ブロック塀の公共施設と民間建築物の安全点検を実施したと思うが、その調査結果と対応策を伺う。特に通学路の安全確保はどう進めるのか。危険箇所は学校と行政との統一見解としてほしい。

### 答【産業建設課長】

①職員による町内ブロック塀点検は完了している。不具合のある公共施設は4件あり、3件は対応済み、1件は予算化し対応予定である。

る。塀の亀裂など不具合のある民間建築物は51件あった。

### 答【町長】

①通学路は協議会を設置し、関係機関と合同点検をしている。歩道整備、交通規制、交通安全教育など継続的な対策に努めている。

### ②ブロック塀撤去に関する補助制度を整備する必要がありと考えている。他自治体の事例を参考に早急に進めたい。

ウ. 台風・集中豪雨・土砂災害について

### 問

台風21号接近に伴い、町では自主避難所を3箇所開設した。（中央公民館、ふれあいセンター、今須小中学校）そこで伺う。

### ①増え続ける災害に、避難所運営上の問題点・改善点の把握、改善方法をどのように進めるのか。

②土砂災害ハザードマップを活用した地域と行政の情報連携をどのように進めるのか。

### ③防災無線の個別受信機の普及はどれだけ進んでいるか。さらに難聴地域への改善策はどのように考え、実行しているのか。

### 答【町長】

①避難所内の部屋の状況、備蓄品の配布方法、情報の提供方法、職員の体制など具体的な課題が把握できた。各担当課と改善策を早期にまとめ、できる限り万全な体制を構築できるよう取り組んでいきたい。

③個別受信機の普及は自治会長宅、公共施設、難聴地域に留まっている。現在、メール配信などによる情報提供の検討をしている。

### 答【産業建設課長】

②町内27地区でハザードマップは作成済みで、各戸配布及びホームページで周知している。昨年は再度各戸配布し、今年も自治会で回覧もしている。今後も関係自治会と協議の上、マップの随時見直しをしていく。

### 再質問

①私は実際に避難所を見回り

の様子を見てきた。また避難者から話も聞いた。私はその際の職員の心ない対応、避難者への情報提供不足を感じた。これが改善点ではないか。現場がどのようになっているか、情報収集力と災害に対する認識がおろそかではないか。

②避難所での防災服着用は必要ではないか。着用していない現状であった。また、診療所職員には支給されていないのか。

③避難所施設でありながら、雨漏りし、エアコン・テレビ・ラジオはない状態であった。この状況を鑑み、町長の考えを伺う。

④防災無線難聴地域改善策、情報伝達方法として、屋外放送テレフォンサービスや既利用の学校保護者等向けメール配信サービスに追加登録で防災無線の内容もメールで受け取ることができるともある。早期に導入してほしいと思うがいかがか。

答【町長】

①避難者に対する対応は、指摘があつて初めて十分でなかったと認識した。今後、避難者数の報告だけではなく、避難所の状況、不足している物品の報告も行っていく。そのためにマニュアルを作成したい。避難者への情報提供も併せて行う。

②私も暑いため上着は脱いでいた。災害現場へ出ているという認識が不足していたかもしれない。今後着用を励行する。診療所の防災服の支給については確認する。

③雨漏りは早急に対応を考えると、なくてはいけない。避難所に充てがえた部屋にテレビがなかったため、どこまで情報提供できるかも課題になる。

④登録制メールの配信は検討を進めている。今提案の件もいま一度検討し、サービス精度が高く、ランニングコストが低い事業を考えている。

再々質問

災害はいつ起きるかわから

ない。問題点を解決したいのなら、他自治体の対応を聞きに行くなど実行に移すべきだ。避難所運営に関するマニュアル化を図ることも町民の不安を取り除くためには大切である。やはり防災意識の薄さを感じる。今回、避難所開設の案内を自治会長に通知したようだが、どうすればよいかと不安に思う自治会長もいた。共助の連携を密にするため、自治会と行政が連携し、町長主導で協議する必要があると思う。一歩前へ踏み出す政策、そして町民ファーストの考えのもと、町長の考え方を伺う。

答【町長】

避難所を開設したことで把握できたことが多くあった。町にとつても非常に勉強になった。これを機に、さらに踏み込んでいま一度検討し、災害対応が充実していけるよう考えていきたい。



松井 正樹 議員

質問 1

今須小中学校の統合問題について

問

①今須小中学校を関ヶ原小、関ヶ原中へそれぞれ統合を進める方針を決めた理由や根拠を伺う。

②今須小中には小規模校としてのよさがあると思うが、考えや思いを伺う。

③統合後の目指す学校の姿を伺う。

④統合に向けて委員会を設置し協議することのだが、具体的な内容と今後のスケジュールを伺う。

答【町長】

①出生数の減少、それに基づく児童生徒数の推移、その見通し、懇談会での意見や

アンケート調査を踏まえ、子どもにとつてよりよい教育環境は何かを第一に考え、併設校のすばらしいシステムの維持は、将来困難になると考えた。一定の集団の中で学び合うことができる環境にすることが大切と思ひ、実現するためには今統合へ舵を取るのがベターだと判断した。PTA会員からは学校がなくなるのは寂しいがやむを得ないとの意見や、児童生徒数の推移から統合の時期が来ていることに納得しているように感じた。

④よりよい統合の実現のため、保護者や地域住民を加えた検討組織を設けたい。統合による諸問題を調査・研究する会と、校舎の跡地利用の検討を行うなど今須の振興策を調査・研究する会である。12月議会定例会にて統合に関わる議案の審議をお願いしたい。議決後速やかに委員会を立ち上げて検討していきたい。

答【教育長】

②今須小中のよさは小1から中3までの濃密な人間関係による伸び伸びとした生活の確立、地域の方のしっかりとした学校の見守り、一人一人に即したきめ細かな指導による学習効果である。これらを支えているのは小中一貫教育であり、その効果がしっかり出ていると考えている。

③統合後は、それぞれの学校が育んだブランドを大切にしながら、小中一貫教育、教科教育、ふるさと教育を中心に教育活動を展開していきたい。さらに関ヶ原町教育大綱基本理念である活力と創造性と思いやりにあふれた児童生徒の育成に励んでいきたい。

④教育課程・学校生活・PTA活動のあり方、送迎方法、統合までのスケジュール・児童生徒の交流・協議経過の広報の方法、学校備品の今後について多くの協議が必要である。組織を立ち上げて検討していきたい。

今須小中学校今後のあり方をめぐるこれまでの経緯

平成29年 2月	PTA会長（当時）より望ましい学校教育環境のあり方の検討を要望する提言書提出
平成29年 9月18日	保護者との懇談会開催
平成29年12月 2日	地域住民との懇談会開催
平成30年 6月	今須地区対象にアンケート調査実施
平成30年 7月22日	地域住民との懇談会開催
平成30年 8月22日	今須地区自治会長、PTA役員、保育園保護者会役員への説明会開催
平成30年 9月 5日	PTA保護者への説明会開催

再質問

① 鼓笛隊や雨乞い踊りは今須が誇る伝統であり、今後大切に扱ってほしい。しかし、統合すると融和させていくのは難しいところもあると思う。このことについてどう対応していくのか。

② 学校がそれぞれ1校となるだけに、力を入れる施策も考えられるし、重点的に予算を投入できる。関ヶ原小のプール問題が本会議で何

度も取り上げられるが、このことについて考えを聞きたい。

③ 児童生徒の交流や部活動は、統合を待たずに、積極的に合同交流することは考えられないか。

答【教育長】

① 今須のすばらしい伝統の活動は、今後2年半にわたる検討の中で十分に大切に扱っていききたい。全体の兼ね合いはあるので、そのことも了解してもらえたい。

② 関ヶ原小では、体育を2時間連続で設定し町民プールで行っている。当たり前になっているが、近くにプールがあればそれに越したことはない。

③ 学校行事をお互いに見合うことや部活動の合同前倒し実施、合同宿泊研修の実施などできるところから早々に進めていきたい。スムーズに統合できるよう十分配慮したい。

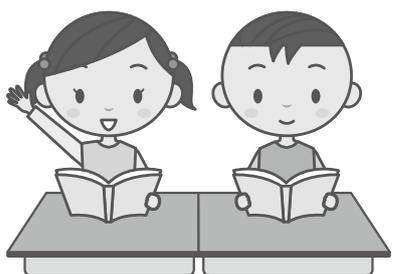
再々質問

今須地区の本音は、学校は

残したいが、子ども達のことを思うと仕方がないという思いだろう。どうかこの気持ちを大切に、スムーズに、多くの人に納得しもらえるよう進めてほしい。

答【町長】

今須小中はすばらしい教育を実践しており、何とか残す方法はないかと随分悩んだ。しかし、将来的には無理と判断した。簡単に統合の方針を打ち出したわけではないことを住民に理解してもらい、決めた以上はよりよい統合にしていきたい。



質問 1  
町北地区の水道水の濁り対策について



楠 達男 議員

問

今年も北地区で水道水の濁りが発生した。配水管の洗管作業を行い一時的に改善した。水道はライフラインであり、住民の安全安心は行政最大の責務である。そこでどう。①現在の汚れの有無、対策について

②今後の根本的な汚濁防止策について

③汚濁が発生した住民に対する料金減免、一部返還などの救済措置の考え方について

答【町長】

①今年も6月頃より、20回以上の苦情を受け、その都度

近くの消火栓で排泥作業を行った。今後、浄水場での前次亜塩素処理と中間処理を増設する方法や、管内の流速の変化を抑えるための減圧弁の設置など検討していきたい。

②対策はマンガンの除去と濁りを発生させにくい流速の安定を図るための整備を早急に計画する。根本は藤古川水源を使用しないことであり、平井水源への移行を目指す第4次上水道拡張整備事業の早期完成が必要である。

③濁りの発生場所、頻度、程度はさまざまで、家庭の捨て水の量も一律ではない。相談いただいた方から聞き取りを行い、対応する予定である。10月号広報誌にお知らせを掲載する。

再質問

①20件の苦情があった時期はいつか。現在は収まっている認識なのか。

②北地区住民には何度も不便と心配をかけている。そのことを考慮し、捨て水が

あった場合の減免だけでなく、一部返還など考えられないのか。

**答【水道環境課長】**

- ① 6月から8月の夏がピークで、現在は落ち着いている。
- ② 20件の苦情のうち、局所的に濁るケースが多く、濁りの頻度、程度もまちまちである。全体が濁り、復旧に日数を要する場合は全面的な減免を考えるが、この濁りに関しては個別で対応していきたい。

**質問 2**

**第4次上水道拡張整備事業の着実な推進による安全で安定的な水道水の供給を。**

**問**

町の水道施設は老朽化が進み、浄水場の改修、機器の更新、耐震化が迫られている。昨年3月には今後10年間の経営戦略を策定した。料金改定はせず、施設の統合整備などを計画し、年間1億円前後の工事を行うことになっている。北部地区の濁り水対策と合わせ、経営戦略による第4

次上水道拡張整備事業の着実な推進を図る必要がある。そこで伺う。

- ① 第4次上水道拡張整備事業の進捗状況について
  - ② 北部地区の濁り水対策と合わせ、事業の一部前倒しの必要性について
  - ③ 厳しい財政が続くが、水道の供給は生活に直結した事業である。毎年1億円の財源確保はできるのか。
- ※第4次上水道拡張整備事業とは？

**答【町長】**

- ① 昨年度は平井浄水場に5本目の取水井戸を掘り、今年度は平井浄水場から藤古川浄水場への送配水管の布設工事を山中で行っている。経営戦略の年次計画からはやや遅れている。
- ② 安心安全な水を届けるには最優先で取り組む事業であり、藤古川浄水場への送水管の布設を優先して行うな

ど、前倒しを含めた見直しを図りたい。

- ③ 給水人口減少による収益の減少、老朽化施設の更新などのため、ますます苦しい経営状況となる。町財政が厳しいとはいえ、一般会計から水道事業会計への補助が十分に行えない中で計画の前倒しは、更なる赤字を増やしてしまう。一般会計と水道事業会計の負担割合の再考、水道事業債発行の検討、町全体の事業の優先度を精査し、早期完了に向けた事業推進を図りたい。

**再質問**

事業の遅れの原因は財源不足だと思うが、水道はライフラインであり、財源不足を克服する努力を重ね、前向きな検討が必要である。経営戦略に毎年1億円の投資が必要と書かれている以上、実行しなければ意味がない。財源の捻出をどう考えるか再度伺う。

**答【町長】**

水道事業債を起こして対応し、それに対する財源の補填は別で考えていくこととした

**質問 3**

**関ヶ原町公共施設等総合管理計画の検討内容と今後のスケジュールについて。**

**問**

- ① 6月議会定例会の一般質問以降、検討結果を伺う。
- ② 個別計画策定に向けた今後のスケジュールを伺う。

**答【町長】**

- ① 職員で構成するプロジェクトチームで検討を重ねており、10月末を目途に個別施設計画の素案作成を目指している。
- ② 中央公民館と保育園は優先して検討したいと考えているが、チームの素案を精査し、改めて優先順位を検討し、来年度予算に反映できるように進めていきたい。平成33年度までの国の財政措

置の活用を視野に入れ、有利な事業展開ができるよう進めたい。

**再質問**

保育園は統合して役場東側町有地に建てるのが条件的に一番よいと前回の一般質問で提言したが、その後どう検討したか。町長の言う、中央公民館を壊し、そこに保育園を建てることは場所、安全面からも難しいと思う。前から提案している保育園と併設で児童公園を作る場合、その費用、メリット・デメリットはチームで検討しているのか。平成33年度までの財政措置を活用するには、素案を基に計画を練り、財源の検討をしなくてはならない。即決する必要があると思うがいかがか。

**答【町長】**

現時点で具体的な計画には至っていない。中央公民館と保育園は優先して考えるようチームに指示してある。それを踏まえた素案が出てくると思うので、その時点で総合的に判断し、できるだけ早く実現できるように努力していく。



田中 由紀子 議員

### 質問1 学校にクーラー設置と重いランドセル解消を

#### 問

①今夏の酷暑で、普通教室にクーラーの設置が必要と思うがその考えと現状を伺う。

②文部科学省は教科書を入れたランドセルが重いと意見が出ていることを踏まえ、宿題で使わない教科書は学校に置いておくことを認めるよう全国の教育委員会に通知を出す報道があった。子どもの発達状況を考え、関ヶ原町でも重いランドセルの解消に対応してほしいと思うがいかがか。

#### 答【町長】

①先ほど9番議員にも答弁したが、異常気象が今後も続

く見込みがあるため設置を決め、動いている。

#### 答【教育長】

②これまでも学校に置いてよい教材の指導はしてきている。9月の文部科学省からの通知には置いてよい教材が追加され、対応済みである。児童生徒の負担軽減、児童生徒や保護者の理解を得るために、置いてよい教材のリスト配布や学校便りで触れて周知していきたい。

### 質問2 水道水の濁りについて

#### 問

昨年に続いて水道水の濁りが起きている。町では濁りの原因から対策を施しているが、それでも苦情が寄せられる。あらゆる方法を検討し、対処してほしい。養老町では今年、2ヶ月かけてブロック別に洗管作業をしている。その後濁りはなく順調のようである。養老町の事例も参考になると思うがいかがか。

#### 答【水道環境課長】

当町でも6月に養老町と同じ手法で一度洗管作業をした。マンガン除去対策を最優先に考え、いろいろな洗管方法を検討し対処していきたい。

### 質問3 今須小中学校の統合問題について

#### 問

①今須地区にこの問題を提起したのは昨年12月で、その後アンケート調査があり、7月の懇談会では統合反対の意見が多数だったにもかかわらず、1ヶ月後には統合の方針をPTAや自治会長に伝えているとの報告を受けた。この性急な決め方では住民同士の議論が進まないのではないか。

②今須小中では平和学習をはじめ、自ら調べ学習したことを地域やイベント開催時に発表し発信している。これは少人数で一貫した教育環境があるからだと思う。今須小中の優れた教育に議論の中では触れていない。

教育長の考えを伺う。

③児童生徒数の減少、複式学級の増加、切磋琢磨する教育活動ができないの理由で統合を強引に進めてしまつたら、今須小中の誇りを無理矢理押さえることになり、まちづくりへの関心の希薄化、人口流出につながるかねない。今後の今須地区の課題を自ら見つけ、話し合い、住民が統合するかしないかを決めるべきではないか。

#### 答【町長】

①アンケート結果や説明会での意見を参考に現在に至っている。性急な判断とは思っていない。  
③最終判断は私がすべきだと思う。結論に至るまでに住民も十分考えられてきたと思う。

#### 答【教育長】

②今須小中のよさは生徒自身も発信してきている。よりよい教育環境を目指そうと思うと、統合に向かうべきである。よさを否定するわけではなく、むしろよさを大

切にしながら進めていきたいと考えている。

#### 再質問

①地域から学校がなくなるかどうかの重大な問題だというのに、町長の認識が非常に軽いのではないか。

②懇談会の中で今須小中の優れた教育の事例を説明しなければならなかった。具体的に説明しないと伝わらない。懇談会そのものが片手落ちで、統合に向かいたいがために、今須小中のよさと心配な点を強調していたと感じた。平成27年に文部科学省が出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」には、統合するか、学校を残し小規模校のよさを生かした学校づくりをするかは、きめ細かな分析に基づく判断が必要だと書いてある。

学校を残す場合の方策も併記した上で住民に考えてもらうのが平等な意見徴収だったと思うがいかがか。

#### 答【町長】

①提言書を契機に、児童生徒

数の現状を鑑み、町の姿勢を決めていない段階で、皆さんの意見を聞き、町として判断したいとして検討に入った。1年が経ち、統合の方向と判断したが、PTAからは大きな異論はない状態であった。地元の意味も尊重している。

**答【教育長】**

②このよさを維持しようにも、児童生徒数が減り、さらには教職員数も減るため、維持できない可能性が高いと説明した。平成33年度には教育的危機が訪れるため、よりよい教育環境で頑張るほうがよいだろうと思判断した。

**再々質問**

①やはり統合への議論の進め方は性急である。議会では一度も議論せず、町長から統合の方向に向かうと判断したとの報告だけでは議会を軽視していると思うがいかがか。

②町の少子化対策、人口対策を推進していくためには、学校統合ではない。急がず

住民が本心で話し合える場を作るべきだと思うがいかがか。

③教職員が減ることでも今須小中のよさが維持できないということか。また、地域の中で小1から中3までが一緒に生活することは教育的にも本当にすばらしいと思うがいかがか。

④平成30年度の出生数を伺う。

**答【町長】**

①議会全員協議会でその都度報告をしている。議会への議案提出の手続きは手順を踏んでおり、議会軽視した覚えはない。

②統合の賛否の意見はそれぞれある。どこまで議論しても多分平行線だろう。PTA Aとしては、統合する方向の中で今後議論を深め、どう統合していくかに方向が変わりつつあると認識している。

**答【教育長】**

③地域で子どもを育てることも一つあるが、基本的には学校教育であり、教育するのは教師である。さらに複

式学級が増えると教務主任も学級担任をしなければならぬ。教職員の負担は高まり、大事にしてきたよさは維持できない。教職員は指導して学校をより高めなくてはいけない使命がある。その面からとても厳しい話をした。

④今須地区4人、関ヶ原地区10人である。(8月1日現在)

## 9月議会定例会の 傍聴者は14名でした。

次回も多くの皆さんの  
傍聴をお待ちしています。



谷口 輝男 議員

### 質問 1 人口減少について

**問**  
①町の人口が近年激減し、年間171人(3ヶ年平均)減少している。地方交付税の需要額などにも影響する国勢調査人口も減少が見込まれる。この加速度的な減少を町長はどう考えるか。  
②平成27年策定のまち・ひと・しごと創生人口ビジョンに掲げた「自然減少をいかに抑制するか」「社会移動の流出をいかに抑制するか」の基本的視点のもと、まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した基本目標をどこまで実行したか、何を優先的に実施したか、しようとして

しているのか伺う。

**答【町長】**

①若者が希望する就職先が町内に少なく、結婚時に希望する住宅地や買い物施設がないという理由で関ヶ原を離れている。また高齢者の単身世帯や老夫婦世帯が多くなっている。この現象はどこでも起きており、関ヶ原のみで解決できる問題ではない。しかし、移住や親子世帯同居近居に関する補助金の問い合わせは増えている。事態の改善に向け、危機感を持って施策の実施に取り組んでいる。  
②認定こども園への移行と一時預かり事業の実施、乳幼児等医療費助成所得制限の撤廃、放課後児童クラブ対象者と開設時間の拡大と子育てしやすい環境作りに取り組んでいる。また、ふれあいバスの運行拡充、分譲宅地開発の支援、移住定住に関する補助金の拡充、空き家空き地情報の提供と移住しやすい環境を整え、人口減少の抑制にも努めた。

この他に企業誘致などに努めていく。

**再質問**

①急激な減少がなぜ起きたか検証したのか。人口の動向も見守りつつ、身の丈に合った施設規模、施策を計画に盛り込む必要があると思うがいかがか。

②水道事業の経営では、給水人口が年間100人減を予測している。それに連動して給水収益も落ちる。しかし安心安全な水の供給のためには第4次上水道拡張整備事業の推進が必要不可欠である。その財源は一般会計から賄うことになる。その財源の捻出が苦しいのに、先ほど町長は事業を前倒すと答弁した。あれもこれもという状況で危機感をどう考えているのか。

③将来人口5,800人として掲げた目標も加速度的な人口減少により割り込む可能性が出てきた今、町内就業者数は若干増えている。私は町内就業者が町内に住み、職住近接させる、これ

が一番よいと思う。そのための住宅政策、企業誘致、耕作放棄地対策など考えているのか。

**答〔町長〕**

①社会減はあるものの、出生数の減が大きく響き、子育て世代が非常に少ないのが大きな課題だと認識している。買い物環境と分譲地の確保が求められる。この町に残ってもらえるような施策を展開しなくてはならない。

②人口減は収入減につながるが何とか収入を増やし、経費が出ていかないよう、維持できるような考えなければならぬ。第4次上水道拡張整備事業を推進すると一般会計に負担がかかる。経営戦略の見直しを図り、財源確保の検討をしていきたい。

③職住近接のため移住定住施策はいくつかの補助事業を展開し、少しずつ実績を増やしている。企業誘致などは活動はしているが、具体的な成果が出てきていない

のが現状である。皆さんの知恵を借りて、継続的に取り組んでいきたい。

**再々質問**

人口は簡単に増えることはない。維持することも大変である。中長期で計画的に進めていかなければならないと思う。関ヶ原町の足元を見て、住みやすいまちづくりの施策をあらゆる手を打ってやっていく心構えをしてほしい。

**答〔町長〕**

人口減が町の活力の喪失にもつながるのは認識している。いろいろな事業を展開したいが、今、財源を多く投入できるような余裕がない現状を認識しながら、スクラップアンドビルドを取り入れて展開を図りたい。

※スクラップアンドビルドとは？

組織などで採算や効率の悪い部門を整理し、新たな部門を設けること。



**議会活動日誌**

**〔8月〕**

- 1日 関ヶ原町水道委員会
- 3日 西南濃地区広域営農団地農道整備事業推進協議会総会
- 4日 岡崎夏まつり花火大会
- 5日 第30回三世交代ふれあいゲートボール大会
- 8日 第2回関ヶ原合戦祭り実行委員会
- 9日 関ヶ原古戦場ランドデザインに関する町民説明会
- 11日 商工会納涼夏まつり
- 24日 岐阜県町村議会議長会第2回評議員会
- 27日 議会運営委員会
- 31日 市町村議会議員セミナー

**〔9月〕**

- 7日 第3回議会定例会初日
- 関ヶ原地方創生特別委員会
- 議会改革特別委員会
- 総務民生常任委員会
- 10日～11日 決算審査特別委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 第3回関ヶ原合戦祭り実行委員会

**〔10月〕**

- 1日 南濃衛生利用施設事務組合議会定例会
- 5日 関ヶ原町戦没者追悼式
- 6日 第27回関ヶ原まつり合戦相撲大会
- 9日 秋季秋葉神社例祭・奉納煙火大垣市制百周年記念式典
- 7日 第33回町民体育祭
- 9日 第69回岐阜県町村議会議長会定期総会及び町村議会議長副議長研修会
- 12日 東海環状自動車道西回りルート建設促進大会及び建設事業説明会
- 14日 野上中山道祭り
- 20日～21日 関ヶ原合戦祭り
- 2018 関ヶ原 武将シリーズ第六弾 黒田長政・福島正則とオープニングセレモニー
- 23日 東海環状自動車道整備促進総決起大会
- 24日 議会改革特別委員会
- 25日 史跡関ヶ原古戦場保存整備検討委員会
- 27日～28日 東首塚供養祭
- 鹿兒島県日置市妙円寺詣り

〔KARATE SE  
KIGAHARA in  
GIFU〕

# 委員会報告

## 議会運営委員会

8月27日  
第3回町議会定例会の会期日程等について協議した後、総務課長から提出予定議案の説明を受け、質疑応答を行った。

## 議会改革特別委員会

7月19日  
来年執行予定の町議会議員一般選挙以降の議会運営委員会の定数などについて協議した。協議の結果、定数は4名とすることで全会一致により決定、議員発議による条例改正を行うこととなった。

9月7日  
一般質問の質問形式について協議した。傍聴者にもわかりやすい質問、答弁方法の意見を出し合った。今後も調査・研究を行うことを確認し、閉会した。

## 全員協議会

7月19日  
町政運営上の次の重要案件について協議した。

・今須地区保育園・学校教育環境のあり方について（アンケート結果をもとに）  
・関ヶ原古戦場グラウンドデザインに関する町民説明会について 外

## 関ヶ原地方創生特別委員会

9月7日  
企画政策課から、まち・ひと・しごと創生総合戦略の昨年度事業実施状況と、昨年度の地方創生加速化交付金等事業の説明を受け、各事業において地方創生に効果があったことを確認した。また、今年度の地方創生推進交付金事業の説明を受け、引き続き適切に事業が推進するよう検証を行うこととした。

## 総務民生常任委員会

9月7日  
定例会初日に付託をされた「政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出に関する請願書」について協議した。審査の結果、採択すべきとの結論に達した。

## 決算審査特別委員会

9月10日・11日  
決算書及び決算資料に基づき、各課長より質疑応答を行い、慎重に審査を行った。審査の結果、本決算を認定するに達した。

## 産業建設常任委員会

北部地区で濁り水が発生していることから、藤古川浄水場設備、ダムを視察した。また、昨年の台風被害による玉の町道小池・玉線災害復旧工事現場と笹尾の治山工事予定箇所を視察し、工事概要と進捗の説明を受けた。

## 視察研修報告

11月1日・2日  
観光によるまちづくり  
京都府宇治田原町

「日本緑茶発祥の地」を軸に魅力を発信している宇治田原町。観光振興計画を策定し、お茶の京都交流拠点の整備、住民のおもてなし力を発揮した事業の支援を行っています。目標入込客数の満足に留まらず、住民が住み続けたいと思える地域を目指す姿勢は、グラウンドデザイン事業を推進し、町の活性化を図る関ヶ原町でも学びの多い研修となりました。他に、議会基本条例に基づく議会運営の取り組みを伺い、翌日には奈良県明日香村を訪れました。

## 年賀状欠礼のお知らせ

お知らせ



公職選挙法第147条の2の規定に基づき、年賀状による新年の御挨拶を失礼させていただきます。皆様の御理解をお願い致します。

関ヶ原町議会

議員一同



あなたも議会を  
傍聴してみませんか。  
12月定例会初日は

**12月7日(金)**

開催の予定です。

その他の日程は、決まり次第  
ホームページでお知らせします。

